

1 開 会

2 事務局挨拶

3 議 事

- (1) 新しい学校づくりに関するアンケート調査の結果について
- (2) 子どもに最適な教育環境を創るための適正化の具体案の検討について

ア 事務局による資料の説明

資料1により修正したアンケート調査の内容、資料2により、保護者・一般市民・児童生徒及び教職員へ実施したアンケート結果について説明

イ アンケート結果、議事に対する委員の意見等

- ・今回の委員会の目的は、前回提案された3案を一つに絞るために、アンケート結果を参考にすることになっているが、慎重に審議することを確認している。
- ・アンケート結果から見て、意見を言うのが難しいと感じる。例えばこの結果を受けて、この先に何があるのかっていうのが、とても大事だと思う。
- ・コミュニティ・スクールで地域を育てると、学校の適正化というのは大きな二つの柱になるのではないかと思う。
- ・結果を見ると、人口の多い地域の方の意見が多く、アンケートをするのであれば、ホームページなどに回答用のアドレスを公開して、アンケートをとっていけば、もっとよかったと思う。
- ・就学前の保護者の方とか、もう少し全体で宇陀市のことを考えるのであれば、居住地を回答しない形でないといけないのでは。
- ・学校選択制が、宇陀市の子どもたち、保護者市民全部の意見を上手く拾い上げられると思う。
- ・もっと積極的に勉強会を開くほうがよい。コミュニティ・スクールのことなど、知識がないままで、宇陀市の未来のことを全部決めてよいのか。
- ・学校の形は確かに大事になってくるが、それと同時に子どもたちに対して一番よい教育とは何かというのを、並行して考えないと。
- ・アンケートの結果は、皆さんが考えて選んだものだから、それを否定はできないと思う。ただ、アンケートの結果に大差があるわけではないので、一つに決めるのは本当に難しいと思う。
- ・学校が居心地のよい場所であることがとても大事だと思うので、居場所づくりとして、大人が用意してあげないといけない。
- ・今更ながらだが、利害関係のない専門的な方にその都度意見を求めることができれば、よいのでは。今後でもよいので呼んでいただきたい。
- ・地域で聞いていても、人数の少ない小学校に通っている方で、逆に、人数の多いところに通わせたいという意見もある。その辺を考えると、本当に学校選択制はとてもよいと思う。
- ・学校選択制っていうのは適正化の大きなキーになってくるかもしれない。
- ・宇陀市以外の地域でも同じようなことが直面しつつあるという現状がある。
- ・何が正しいというのをこの委員会の中で果たしてどこまで決め切れるのかということに関して

は、大きな責任がある程度はある。

- ・今いる保護者、今いる児童、今いる教員、そこに携わる人間が満足して過ごせる学校づくりということが一番必要だと思う。
- ・特色ある学校づくりというのはすごく簡単だが、協力するという意欲をもっている地域の方がどのくらいいるかによって結局、地域差が出てきてしまう。
- ・本当の地域ってどこまでのエリアなのかというのをもう一回考える必要があると考えている。
- ・一旦ここで節をつけるというのは、議論を進めたり、深めたりするためには大事かと思う。
- ・委員のメンバーそれぞれの都合で、4月に交代したら、もう一度話が戻ってしまうリスクがあるので、一度ここで大きなアウトラインを決めるべきだというふうに考える。
- ・今日の議論の中で学校選択制についても検討することは、外せないと思っている。
- ・節をつけるということに、賛同いただいと受けとめる。(ア)(イ)(ウ)の案から一つと、学校選択制ということのを土台に考えるか否かについて投票をお願いします。

ウ 投票の結果

- ・総数13の投票に対して、(ア)の案に4票。(イ)の案に8票。(ウ)の案に1票。

○委員長まとめ

- ・(イ)の案を基本として、次回は内容について検討をしていく。あくまで検討をする基本としての案なので、話し合いが進んでいくなかで、変わっていく可能性もある。
- ・学校選択制について、選択制について考える必要がないという意見が3、選択制のことについては議論をさらに深めようという意見が10であった。そのことも加味しながら、次回の議論をする。
- ・コミュニティ・スクール等について勉強していくことに関して、事務局に考えてもらう。専門家とか、各委員からも資料提供をいただくということをお願いしたい。

●事務局より

- ・コミュニティ・スクールの要綱については、規則を来月4月1日に施行し、各学校でコミュニティ・スクールの基礎を作れるようにする。1年間かけて準備をしていくように、学校には伝えている。
- ・小規模校をなくすという意見はなかったので、小規模校を考えていくのも一つかと思う。
- ・保護者や就学前の保護者であるとか、それから一般の方の意見がないということでアンケートを実施した。アンケートも一つの参考資料にしていきたい。
- ・あくまでもこの委員会で話し合った内容が決定ではない。ここで出てきた答申を受けて、教育委員会が次を考えていき、市が決定していく。

4 連絡事項

- ・次回の第8回宇陀市学校適正化推進委員会は令和5年5月23日(火)18時から宇陀市役所4階大会議室で開催予定。

5 閉 会